

昭和45年

国勢調査報告

第1巻

人口総数

1970 POPULATION CENSUS OF JAPAN

VOLUME 1

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Bureau of Statistics, Office of the Prime Minister

ま え が き

5334.61
5615(0)K1
1b.

昭和45年10月1日を期して行なわれた昭和45年国勢調査は、国民各位の多大のご協力を得て無事終了し、現在、その結果を鋭意とりまとめ中である。

国勢調査は、大正9年に第1回国勢調査が行なわれて以来、10年目ごとに大規模な調査が、またその中間の5年目には簡易な方法による調査が、ほぼ定期的に行なわれているが、今回の国勢調査は、10年目ごとの大規模な調査に相当すると同時に、第1回国勢調査から数えて11回目、ちょうど半世紀を迎える歴史的にも意義深い調査であった。さらに、今回の調査は、国際連合の提唱による1970年世界人口センサスの一環ともなっており、また、近く本土復帰が予定されている沖縄において、戦後始めて本土と一体的に国勢調査を実施するという記念すべき調査でもあった。

国勢調査は、全国、都道府県のみならず、各市区町村の人口の状況を詳細に明らかにすることをその目的とする国の最も基本的な統計調査であるが、今回の調査事項には、戦後の各回調査で調査されてきた年齢、男女、配偶関係、産業、職業等の基本的事項およびこれまでの大規模調査でとりあげられてきた出生力、教育等の事項のほか、現住居への入居時期および通勤・通学に利用する交通手段に関する事項を加え、また、集計の面では従来の集計に加えて、人口の移動および通勤・通学に関する詳細な集計を行なうこととしており、同時に、都道府県・市区町村別の統計の充実および国勢統計区、国勢調査調査区等の小地域の統計の拡充をはかることとしている。このため、今回の調査では、全国で約56万人の国勢調査員に調査の実施にあたっていただくとともに、最新の集計方法を採用して、これらの結果を早期に集計し公表することとしている。

この報告書は、昭和45年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県、市区町村および人口集中地区の人口および面積に関する統計表を収録したものである。人口の各調査事項別結果は、全数集計または抽出集計の方法により、現在集計が進行中で、「昭和45年国勢調査報告 第2巻～第7巻」として、集計完了のつど、巻を追って刊行することとしており、すでに第3巻「都道府県・市区町村編」のうち1部のものは刊行済みである。

ここに、この報告書を刊行するにあたり、今回の国勢調査の企画・実施の段階から結果の集計・編集にいたるまでの間、ひとかたならぬご指導ご協力をいただいた多くの方々から心から感謝の意を表する。

昭和46年9月

総理府統計局長 関 戸 嘉 明